

# 日本家族性腫瘍学会 2015 年度評議員会 議事録

日 時：2015 年 6 月 4 日（木） 17:00～18:00

場 所：ラフレさいたま 4 階 樺Ⅲ+Ⅳ

参加者数：35 名（委任状提出 21 名）

議 事：

富田理事長の開会挨拶のあと、第 21 回学術集会 石田秀行会長より挨拶があった。

報告事項：

1. 事務局より 2014 年度会員数および 2014 年度事業報告があった。

2. 各種委員会報告

①田村和朗理事より総務委員会報告があった。がん治療認定医機構連絡協議会へ三木理事が出席した。今後、がん治療認定医機構のセミナーに家族性腫瘍のセッションを組み入れてもらうよう追加要望をしていく。担当は三木理事とする。

②財務委員会報告は特に無し。

③石川理事より将来検討委員会報告があった。LFS の部会について進めている。

④会則委員会報告は特に無し。

⑤菅野理事より専門医・FCC 制度委員会があった。

委員会およびセミナーの収支報告があり、本年度より委員会・セミナー会計も学会の監査を受けている旨、報告があった。

第 18 回前期セミナー開催状況について報告。

⑥石田理事より編集委員会報告があった。J-stage にて pdf 化のみの電子化を進めている。

⑦三木理事より学術・教育委員会報告があった。

⑧武田理事より倫理委員会報告があった。COI について総務委員会と検討中。編集委員会ともあわせて作成し、ホームページに掲載できるように進めていく。

⑨大住理事よりガイドライン委員会報告があった。家族性腫瘍関係のガイドラインのホームページを学会ホームページにリンクしていく。

⑩松原理事より国際委員会報告があった。関連国際会議について説明があり、向こう 2 年程度のリストを随時学会ホームページに掲載していく。

⑪田村智英子理事より遺伝カウンセリング委員会報告があった。遺伝カウンセリングに関する資料収集を行っており、ホームページで利用できるような方向にしていきたい。

⑫村上理事より広報委員会報告があった。ホームページ構成のブラッシュアップを進めており、定期

的に情報発信できる体制を構築したい。

3. 菅野理事より第 18 回前期家族性腫瘍セミナー準備報告があった。

4. 大住理事より第 22 回学術集会開催案内があった。

5. 田村理事より遺伝性腫瘍研究グループ連絡協議会（仮称）第 1 回準備会報告があった。

審議事項：

1. 2014 年会計報告・監査報告について

青木理事より 2014 年度収支決算報告の提示・説明があり、数問・執印両監事により監査が行われた旨、報告され、承認を受けた。

2. 田村和朗理事より会則変更について説明があり、下記にて承認を受けた。

旧（会計）第 31 条 3. 会計年度は毎年 1 月 1 日に始まり、12 月 31 日に終わる。

新 →（会計）第 31 条 3. 会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

3. 青木理事より 2015 年度予算について提示・説明があり、承認された。

4. 第 23 回（2017 年）学術集会会長候補について互選をおこない、札幌医科大学 櫻井晃洋先生の推薦があり、承認された。

5. 新評議員の推薦があり、承認された。